

令和6年度 厚木市障害者協議会 第3回 実務者会議

日 時	令和7年3月13日（木）午後2時から午後4時まで
場 所	アミューあつぎ amy studio
出席者	○委員 厚木市身体障害者福祉協会 厚木市手をつなぐ育成会 厚木市自閉症児・者親の会 精神保健福祉促進会フレッシュ厚木 厚木地区知的障害施設連絡会 厚木市・愛川町・清川村地域精神保健福祉団体連絡会 厚木市居宅介護事業所連絡会 神奈川県総合リハビリテーション事業団七沢自立支援ホーム 厚木市児童発達支援センター ひよこ園 相談支援事業所連絡会 厚木市地域包括支援センター 厚木市教育委員会 特別支援学校 厚木児童相談所 厚木保健福祉事務所 厚木市社会福祉協議会 厚木市障がい福祉課 ○事務局 厚木市障がい福祉課 厚木市障がい者基幹相談支援センター

1 開会【司会：厚木市障がい者基幹相談支援センター】

2 議題

(1) 日中サービス支援型共同生活援助事業所の開設説明について

質疑応答

○厚木市自閉症児・者親の会

両方とも利用料、だいたい決まっているんでしょうか。重心の方の受け皿ってすごく今ひっ迫していると思うんですけど、ニーズはすごくあると思います。さっき会長が言っていた通り、すぐに埋まってしまうと思うんですね。ABC リビングさん、アトラクションホールディングスさん物件場所としては駅に近くていい物件なんですよ。

自閉症の人達で働いているんだけど、自宅以外でグループホームに住みたいというニーズがすごく高いんです。なので、この物件の2階フロア全部重心で埋めちゃうのか、ワンフロアは知的障がい、精神の方でもいいのか、っていうお考えはないのか、その辺お聞きしたいんですけれどもいかがでしょうか。

○株式会社アトラクションホールディングス

私がかつと医療に特化したというところがございます、医療のところ为重点的にと考えて、実際に田村町のところに関しましては、身体、重度の方を考えておりまして、実際に岐阜、埼玉含めましてですね、埼玉の新座も結構いいところにありまして、そちらは知的、精神の方も入っていただいて、確におっしゃる通り、そういったニーズがあることは重々感じておるところです。チャンネルが違ったところ、同じ建物で違うフロアとかではなくてですね、チャンネルの違ったところですね、また別でとは実際考えております。

○厚木市自閉症児・者親の会

利用料は月おいくらなのか伺いたいんですけど、両方ともお聞きしたいんですけど。

○株式会社アトラクションホールディングス

家賃が41,000円、水道光熱水費が18,000円、日用品費が4,000円、約63,000円、おむつ代など実費となります。例えば、人工呼吸器がついている方だと、我々、生体管理システムではないんですけど、SP02、コロナで有名になったサチュレーションというやつですね、実際に事務所の方にWiFiで飛んでですね、何パーセントであるということを常時モニタリングできるものを導入しておりまして、それを利用する方は3,000円プラスされるという形になります。生活保護費や障害基礎年金でまかなえるというところを一つのコンセプトとして考えておりまして、約69,000円プラス実費と考えております。

○株式会社 lien

重度知的の方や重度精神の方の受け入れに関しましてですが、弊社提携会社が横浜市鶴見区で9床プラス1のショートステイという形で日中支援型、重度知的障がいの方と重度精神障がいの方を日中サービス支援型で運営して3年目になります。

川崎市内と横浜市青葉区で重度身体の方、10部屋プラスショートステイ1という形、9部屋ショートステイプラス1という形で合計3か所のグループホームさんと提携させていただいているんですけど、厚木市様のお話の中で協議会様、障がい福祉課様のお話の中で重度知的の方、重度精神の方の受け入れのご予定があれば運営施設がございますので、柔軟に障がい福祉課様と話を進めていけたらと思っております。

お家賃の設定に関しましては、あくまで、まだ決まっておりません、来年度6月に協議会様があるとお聞きしておりますので、そこである程度正確な数字をお伝えできるのではないかと思います。今横浜市と川崎市の3ヶ所、グループホームの方がですね、だいたいお家賃7万円前後で行政様と決めさせていただいておりますので、ある程度弊社に関しましては、7万円前後という形で、4月以降で神奈川県庁様ともお話をしながら来年度の協

議会様に正式な金額をお示しできればと考えております。

また食費、光熱水費に関しましては、昨今先に料金設定というグループホームさんが多いと思いますが、ここ最近の行政様のお考えですと実費相当と指導されておりますので、発生した金額、メーター計算等でわかりますので、その中で事務所などご利用者様に関係のない部分の平米数を引いた金額、それでお一方あたりの金額がでてきますので、それを請求させていただく、月いくらというのではなく、かかった分の実費相当でございますね。食費に関しましても昨年度大手さんの方で、テレビで問題になったことがあったかと思いますがけれども、今県庁様との話の中でもある程度1日の食費がだいたい1,300円から1,500円の中で今動いているんですけども、お米代の高騰ですとか、物価高の中で、今実際川崎と横浜の方では年度の間ですとか、年度末、今まさにやっているんですけど、半年くらい期限を切ってやはり追加でいただいたり、逆にお金をお戻しするとか、食費に対しても実費相当という形で適正にかかった部分、本件実地指導表で利益をだしてはいけないという指導はされておりますので、過不足なく実費という形でご理解をいただければと思います。私からは以上です。

○厚木市自閉症児・者親の会

すみません、もう1点、お二人にお聞きしたいんですけど、重度の障がいの方で日中レクリエーションじゃないんですけど、サービスをするとなるとどういったお考えなのかお聞きしたいんですけど。

○株式会社アトラクションホールディングス

日中に関しましてはすでに始まっております、前橋のところの話をさせていただきますと、かなり寝たきりの方が多いんですけど、ALSの方含めて感覚異常ですとか、自立感覚がなかったりですとか、認知機能が正常でない方に関しましては映画を見たり、音楽を聴いたり、ハンドマッサージをしたり、あとリハビリではないんですけど、拘縮予防ですとか、我々力を入れているのが離床法というのでして、この離床法というのが寝たきりの人に対してすごく大きなテーマでして、部屋からでて、違う景色が見えるとかですね、少し外にでて表にでるとか、レクリエーションとっていいのかわからないですけど、こちらに対しては満足度が高いというか、そういったところでございます。

○株式会社 lien

まず、重度身体の方々のグループホーム内でのレクリエーション内容ですが、実際弊社の下荻野の図面の中ですと、左下にテラスをもうけさせております。しっかりと、落ちないようにというか、囲いは作るんですけど、区分5の方、6の方、重度身体の方々が中心となりますと、株式会社アトラクションホールディングスからお話もありましたけれども、やはり外気浴の面ですね、そこでlienの事業所に関しましてはテラスをもうけさせていただいたというところでございます。

あと、提携事業所で行っているのが、照明にアラジンというブランドですけどそのままプロジェクターになる照明器具がありまして、共用部ですとかご利用者様のご希望に応じて介護用のベッドの中にもいながらも、あと事業所の中にもいながらもそういった照明器具を使ってプロジェクター感覚で四季折々の画像が見えたりですとか、事業所の中のあつらえですとか、子どもみたいな雰囲気ではないんですが、事業所内で四季を感じていただいたりですとか、支援員の方で毎月日本における行事ですとか、イベントをやらせていただいております。

また、外部サービスで訪問マッサージの先生に来ていただいてリハビリをしてもらったりですとか、状況に応じて移動支援のサービスを受ける方に関しましては事業所様によってですが、地域連携の中で事業所の中でできる四季折々でしたり、余興が感じられることでしたり、連携で行っているのが現状でございます。重度知的の方ですとか、重度精神の方々のグループホームで行っている活動としましては、いろいろな個性のある方の中で、元々在宅

で生活介護に通われていて、その頃から習慣的に作業をされていたという方になりますと、そういった部分のルーティンな提供だったり、個別の支援、小集団、その中でQOLを上げるような形で今取り組んでいる事例といたしましては、外部サービスを就労Bは難しいけれど、事業所の中で時間通りに起きて、自分のお膳は洗うとか自分の洗濯物はやってみるとか、支援員の助けもあってですが、できる方の中ではそういった、ご自身のADLではなくてIADLをあげていくような個別支援に取り組ませていただいております。

あとは、小集団の中で会社の社用車を使って、遠足ではないですけど、ちょっとお出かけをしたり、移動支援のサービスではなくて、事業所として行事を組んで、年間行事として行ったりもしておりますので、重度知的と重度精神の方の日中サービス支援と重度身体の方のグループホームと三障がいでは事業所内でのイベントが明らかに違う角度でやらせていただいているのが現状でございます。以上でございます。

○事務局【厚木市障がい者基幹相談支援センター】

医療的ケア児コーディネータをしております。私からは一つお願いと二つ質問を二つの事業所様にさせていただきたいと思います。

今コーディネートの対象が18歳以下のお子様なんですけれど、NICUから退院してくるお子様の相談が非常に増えておりまして、みんな元気で大きくなるので、大人になっていくので、18歳以降行ける場所ができるかもってというのはとても心強く思います。

グループホームも地域にきてもらうこと心強く思うんですけど、日中の生活介護と呼ばれる通いの場が厚木市内、県央圏域不足している実情があります。他の精神、知的、発達、自閉症の方もそうなんですけれど、医療的ケアの日中の活動の場が不足しているという現状がありますので、ぜひご検討いただければというのが一つお願いとなっております。

二つの質問のうちの一つなんですけれど、短期入所を事業としてやってくださるんですけど、対象の年齢で、小さいお子さんというのは難しいと思うんですけど、15歳から18歳、成人になるまでの高等部年齢になるお子様の短期入所先、医療的ケアのある方の短期入所先というのが、急に15歳の小児科の壁を超えるとなくなってしまうんです。身近な地域で短期入所が出来たらと思うんですけど15歳から18歳、小児の短期入所の受け入れはいかがでしょうかというのが質問の一つです。

もう一つが動ける、歩ける医療的ケアの方がいらっしゃって、気管切開してカニューレが入っているけれど、元気で遊んでいるとか、厚木市で自閉症の方で気管切開している方だと、受け入れ先が本当になくなって、元気な方でもご利用が可能でしょうか。ケースバイケースだとは思いますが。その2点をお聞かせください、よろしくお願いします。

○株式会社アトラクションホールディングス

2点目の15歳から18歳の児童の受け入れが可能かという点に関してですが、現時点では児童の短期利用は受け入れていないというところなんですけれど、私自身が児童・小児の専門家ではなかったというのが大きな要因でございます。

今回、前橋のところでも同じようにこの2つ目のご質問に重なると思うんですけど、動ける気切の方ということでして、今回ですねエピソードといたしまして、療護園でずっと入所施設に入っていた方でしてその方が18歳で卒業するということになりまして、結構動けちゃうので成人のところに移行できないというご相談がありましてですね、私たちが受け入れさせていただいたということがございます。

その前には、何度何度も綿密に綿密に会いに行って、アセスメントを取らせていただいて、実際に強度行動障がいもついている方でしたけれども、比較的身体が小さい方で、気管切開であるので大きな声がでない、ということも含めましてですね、そういったところも含めてスタッフでみていけるかということ何回もカンファを重ねて受け入れさせていただいたという背景がございます。

なので全部が全部受けられないということではなくてですね、しかしながら、ケースバイケースというのもございましてですね、しっかりとしっかりと丁寧にアセスメントした上でですね、できる限りそういったところにも貢献できたらと思っております。

○株式会社 lien

まず、生活介護の部分でございますね、前回の会議に参加させていただいたときに有限会社湘南在宅ネットワークがですね、もうすぐ10年になるんですけど、海老名市の河原口、オアシス湘南病院さんの向かいなんですけれど、定員20名で放課後等ディサービスをしておりますので、ディサービスの運営に関してはlienよりは湘南在宅の方が実績がありますので、今後近隣市にもでることになりますので、持ち帰らせてもらいまして、湘南在宅代表の高橋に厚木市の方に生活介護の希望があると伝えさせてもらえればと思います。

続きまして、15歳から18歳までの方のショートステイのことに关しましてですが、受給者証の中で措置という言い方があっているのかわかりませんが、総合支援法の中でやらせていただいておりますので、コンプライアンス的に厚木市様が日数をおろしていただけるのかどうかというのが、まず入口なのかなと思います。

その中でですね、lienのコンセプトといたしましては、日中の看護師配置と夜間が訪問看護さん、在宅診療の先生ですとか、医療連携となつてきますので、そういったハードとソフトの中でlienの中で、ハーモニー下荻野の中でお受けできるとなれば、地域貢献、地域福祉の中で積極的に受けさせていただければと思います。

重ね重ね年齢的なところで、厚木市様の中で日数を出していただくというのが入口かなと思ひました。自閉症の方で気管切開の方で歩けるという方に関してもグループホーム自体が在宅サービスの一環となっておりますので、主治医の先生ですとか、入られている訪看さんのナースさんの見解ですとか、ご家族のご意向含めて計画相談の方を含めて地域連携の中で弊社のハーモニー下荻野でハード面ソフト面お受けできるということであればそういった方々、ただコンセプトとして重度身体となっておりますので、三障がいミックスというグループホームのあり方が私もクエスチョンがつきますので、重ね重ね厚木市様のご理解があったり、地域貢献を担うということであれば積極的にお話しいただいてご相談いただければというのが率直な感想でございます。以上でございます。

○事務局【厚木市障がい福祉課】

児童に関しまして、レスパイト目的であれば日数は出させていただきますので、そこでお受けできるということであれば、児童の医療的ケアの保護者は寝る間も惜しんで看護されているというところもありますので、お越しになるのかなと思います。

○株式会社 lien

放課後等ディサービスの実績の中で、湘南在宅のスタッフとlienのスタッフが連携という形も取っていきたいと考えております。湘南在宅の中には保育士や児童指導員たくさんおりますので、必要に応じてハーモニーの方で何かしらの尽力ということもありますので、グループ会社の中でしっかりととれる連携を取って行いたいと思ひます。

○会長

協議会の会議の中で地域の課題が形になって反映されるかもしれないという、いい場面だったなと思ひました。lienさんは2025年10月から。

○株式会社 lien

12月の予定でございますね、そこは変更になっておりました、今年の12月ですね。

○会長

アトラクションホールディングスさんは2026年10月からですね。ありがとうございます。

(2) 令和6年度各プロジェクトの取組について

質疑応答

○厚木市自閉症児者親の会

先程、ご説明いただいた機能補助金の利用件数ですが、すみません昨年の記憶がなくて、増えてきているのか、2年前よりも増えているのかどうか1点聞きたいのと、もう1点、地域生活支援拠点の次年度の取組にある強度行動障がいへの支援の構築とあるんですけど具体的に何か決まっていらっしゃるのか、その2点をお聞きしたいんですけど。

○事務局【厚木市障がい福祉課】

登録数の方でしょうか、補助金の方でしょうか。

○厚木市自閉症児者親の会

補助金の方です。令和4、5年が共に2件、今年度が3件なんです。正直緊急のことなので増えられてもいいことではないので、件数が伸びていったからいいよってことではないんですが、市民の方には認知はされているのかなと思います。

強行のことにに関してですが、来年度はアンケート調査という形でまずは調査の形になりますので、具体的にこういった支援を構築しますよということではないです。7年度については調査という形になります。以上です。

○厚木市自閉症児者親の会

これに関連するかわからないんですけど、昨日の神奈川新聞に地域自治体で入所を希望している人の実態調査が厚生労働省が調査を依頼したけど各自治体で入所希望している実態を調査していないというのが39%あったっていうんですけど、厚木市障がい福祉課が手に持ってらっしゃるけど、厚木市はあると思うんですね。

だけど、ちょっと話は飛ぶかもしれないですけど、昨年12月末に海老名市で障がいのある息子さんとお子さんを殺したっていう三人お子さんを殺したっていうお母さんの話がありましたよね。それも相談できる場所がなかったのかどうか、うちの会員でも気にしていて、相談できずに殺してしまったのか、相談していてももちが明かずに殺してしまったのか、それともお母さん自体に問題があったのか、話はとても気にしているんですね。

厚木市は地域に相談支援事業所があって、それぞれ相談支援員さんが、毎月集まってスキルアップして、バーンアウトもしないように一生懸命やってくださっているから、そんなことはないと思うんですけど、実際に児童のケースはやはりお母さん、家族が悩んでしまって、どうしようもなくなってしまったときに、児童相談所も受け入れられないと言われて、自分の家族も助けてくれる人がそばにいないかっていうと、誰も助けてくれない、本当に困ってしまう、そういったケースがあると思うんですね。そこは放デイの事業所や学校、相談支援事業所も皆がアンテナを高くして支援を横の連携をして、細々でいいので支援を続けていこうよっていう意識を厚木で高めていただきたいなというのが、すごく思っていることです。

○会長

地域の相談支援センター、相談件数が増えて感覚でなくて数で増えているなど。こんな相談もくるんだということがよくあるんですけど、そこは相談支援センターの限界もあるんですけどね、だんだん強くなっているなっていうのは感じてはいるんで。それでもできないことはもちろんあるんですけど、そこは地域の課題なんだろうなと。大事なことだと思います。次年度も続いていくんですね。

○事務局【厚木市障がい者基幹相談支援センター】

今、プロジェクトの報告させていただいたんですけど、ペアレント・トレーニングの実施報告ということで、今年度基幹相談支援センターとして行った事業ですので、担当者の方から報告させていただきます。

○厚木市自閉症児者親の会

フォローアップで抜けちゃった方はその後のフォローアップをしてらっしゃるのでしょうか。

○事務局【厚木市障がい者基幹相談支援センター】

二、三度お声かけしても、みなさんお仕事だったり、あと第二子妊娠で出られないとか、ちょっと今開催方法を検討していく予定で、なかなか対面は難しいのか、本当にこの2月も当日の朝子どもが熱でちゃってとかで非常に残念でした。厚木市障がい福祉課とも今開催方法をどうしようかと考えているところです。

○厚木市自閉症児者親の会

ペアレント・トレーニング参加してくださるっていうのが私はご両親っていうか、お母さま方ががんばっていらっしゃるんだなとありがたく思いますし、フォローアップできなかった方をどうフォローアップしていくのか、オンラインでやるっていうのか方法が必要なのかなと思いました。

(3) 委員任期満了に伴う次期委員の推薦について【厚木市障がい福祉課】

(4) 令和7年度厚木市障害者協議会の日程について【厚木市障がい福祉課】

それぞれ厚木市障がい福祉課から説明。

(5) その他

ア 厚木市自閉症児者親の会からイベント等の紹介

(ア) 4/2 世界自閉症啓発デー、4/2 から8 発達障害啓発週間【厚木市自閉症児者親の会】

(イ) 自閉症プレカンファレンス2025【厚木市自閉症児者親の会】

イ 厚木市障がい福祉課から報告等

発達障害啓発週間は私も参加させていただきますのでよろしくお願いいたします。

最後に私からお礼を。実務者委員の任期が終わります。退任される委員の方には大変二年間ありがとうございました。この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございます。また4月以降引き続き委員の方をお引き受けいただく方にはよろしくお願いいたします。来年から再来年にかけて計画の策定にお力をいただきたいと思います。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

それと報告をさせていただきますが、市議会です、令和7年度予算をご審議していただいております。今月の18日が議会最終日で予算の方が成立いたしますけれど、障がい福祉課の予算が81億4,200万円です。6年度と比較して、約8億円増えております。なんとか予算の方確保できましたので、この場を借りてご報告させていただきます。以上でございます。ありがとうございました。

3 閉 会

副会長から閉会の挨拶

以上